



# 広報 峡北

No. **19**

平成14年10月1日発行

発行所 峡北広域行政事務組合

山梨県韮崎市本町4丁目9-48

TEL0551-22-3311 編集/総務課

印刷所 アートプリント社



これからも  
峡北地域を  
守ります！

4

3



# 財政事情 の公表

平成十四年度の、峡北広域行政事務組合当初予算が三月定例議会において可決されました。

当組合の財政は、一般会計とそれぞれの目的に応じた五つの特別会計で構成されており、一部の使用料・手数料を除き、そのほとんどが関係市町村からの負担金でまかなわれています。

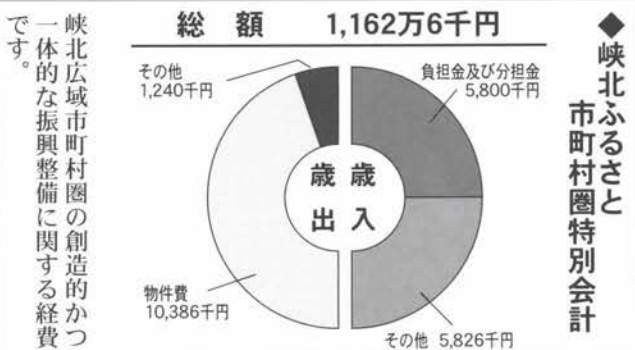
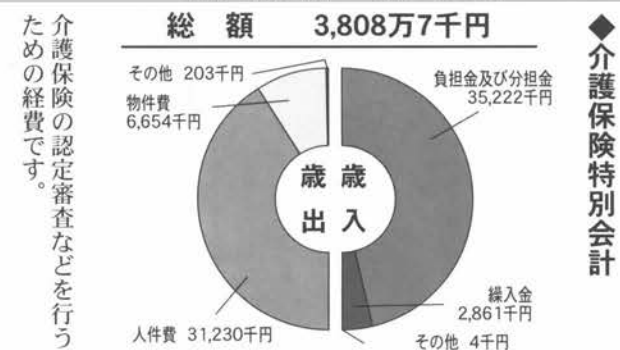
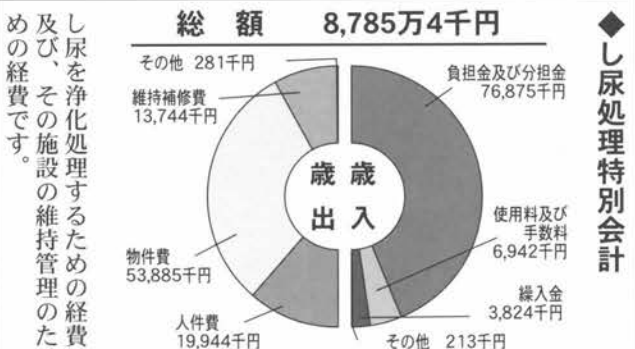
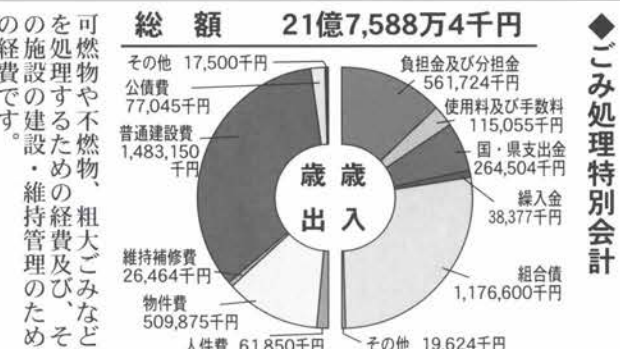
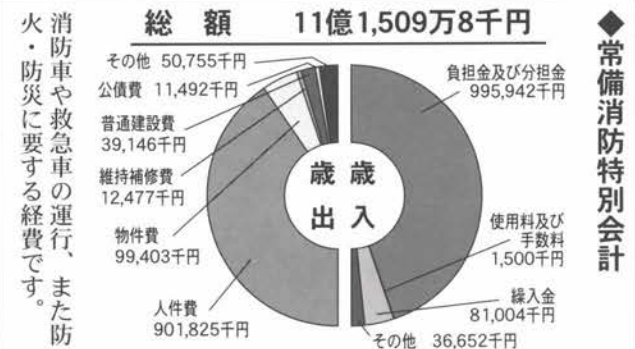
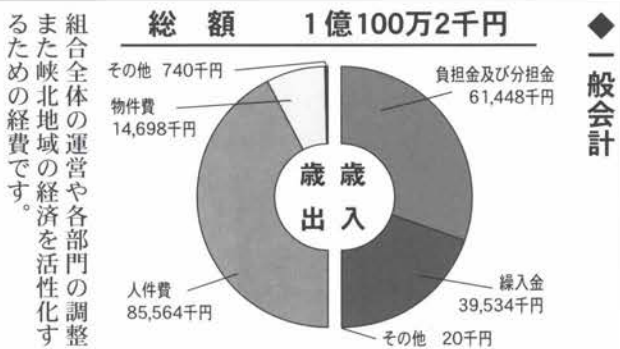
## 平成14年度当初予算額

# 35億2,955万1千円

峡北広域行政事務組合告示第8号

地方自治法第243条の3並びに峡北広域行政事務組合財政公表条例に基づき、平成14年3月31日現在における峡北広域行政事務組合の財政状況を次のとおり公表する。

平成14年7月5日 峡北広域行政事務組合 代表理事 小野 修一



## 平成13年度 予算執行状況

平成14年3月31日 (単位:千円)

会 計 名	収 入 済 額	支 出 済 額	差 引 額
一 般 会 計	110,581	92,690	17,891
常 備 消 防 特 別 会 計	1,280,064	1,020,573	259,491
ご み 処 理 特 別 会 計	7,872,253	2,181,180	5,691,073
し 尿 処 理 特 別 会 計	91,049	82,339	8,710
介 護 保 険 特 別 会 計	39,016	31,270	7,746
峡北ふるさと市町村圏特別会計	12,711	11,258	1,453
合 計	9,405,674	3,419,310	5,986,364

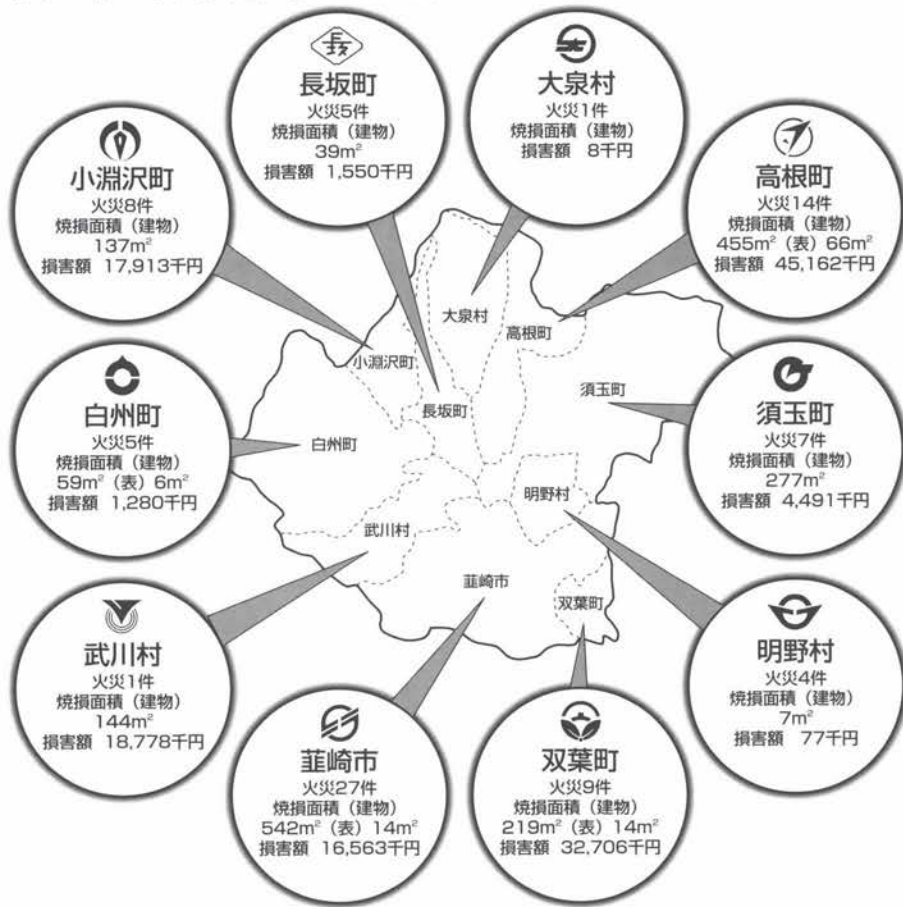
# 「平成13年中」

峡北地区の火災

81件 (前年比 8件・11.0%増)

「平成14年8月末現在」

59件



## 火入れ等の飛び火にご注意!

● 風のある時に、たき火や下草焼き等をしない ●

### 『山火事対策は先ず野焼きの禁止から』

今年も十一月九日から十五日まで、火災予防意識を喚起するため、秋の火災予防運動を消防本部・消防団一丸となって展開します。平成十三年中の火災件数は、八十一件で前年と比較して八件(十一%)の増でした。

火災種別で最も多かったのは、建物火災三十件、次にその他火災(ゴミの焼却・野焼き等)二十一件、車両火災十七件、林野火災十三件の順となっております。

損害額は、一億四千万円余りとなりました。最も多い出火原因は、火入れ等の飛び火十三件、たき火八件、ゴミ等の野焼き五件の順となっております。

今年については、八月末現在で五十九件と、昨年同様ハイペースで件数が増加しており、これから空気が乾燥し、火気の使用機会が増える火災多発シーズンを迎え、火災発生が懸念されます。

火災の大半は、ちよつとした火気取り扱いの不注意や、不始末から発生しています。皆さんの大切な生命・財産を火災から守る者、それは他でもなく皆さん自身です。

「消す心 置いてください」火のそばに「を合言葉に住民一人ひとりが火災予防に努めましょう。なお、今年の十二月一日からは、屋外でゴミを燃やすことが規制されます。また、市販の小型焼却炉及びドラム缶等で燃やすような簡易な焼却炉の使用が法律で禁止されます。詳しくは、県または市町村担当課にご相談ください。

### 『東海地震は必ず来る!』

東海地震防災対策強化地域の見直しにより、峡北地域五町村(須玉町・高根町・長坂町・大泉村・小淵沢町)が新たに指定を受けたところでありますが、大規模な地震から安全に身を守るため次のことに心がけましょう。

- 一、まず身の安全
  - 二、火の始末はすばやく
  - 三、ドアを開けて出口を確保
  - 四、火がいたら消火はすばやく
  - 五、あわてて外に飛び出さない
  - 六、狭い路地やブロック塀から離れる
  - 七、協力して救護活動
  - 八、山崩れやがけ崩れに注意
  - 九、歩いて避難
  - 十、正しい情報が大切
- 地震が発生したときに最優先したいことは、自分や家族の安全を確保することです。そのために、地震から身を守るための重要なポイントをきちんと覚えておきましょう。

# 火災予防『図画』『標語』コンクール

峡北消防本部では、火災予防思想の普及啓発のため、管内の幼年消防クラブから「図画」、少年消防クラブから「標語」の推薦作品を募集しました。

作品数「図画」五四七点の内一三三三点、「標語」一八六六点の内二五五点から厳正な審査の結果、掲載の方々が最優秀賞等に入選され、消防長から賞状と記念品が贈られました。  
なお、入選作品は葦崎シヨツピングセンター及び長坂シヨツピングセンターに掲示後、現在消防本部二階に展示しておりますのでご覧ください。

## 標語の部

### 最優秀賞

「安心」は 火をたしかめてから 言うことば  
武川小学校六年 大輪 志徳

### 優秀賞

気をつけて タバコの投げ捨て 火事のもと  
高根東小学校五年 阿久津友洋

### 優秀賞

安心は 火を消してから 思うこと  
小淵沢小学校四年 政本すみれ

## 図画の部

### 最優秀賞

秋田保育所  
日向 勇人くん



### 金賞

若神子保育所  
赤岡 桜ちゃん



### 金賞

多摩保育所  
柴崎 佑季ちゃん



## 防火管理者講習会

当消防本部では平成14年度の資格付与講習会を次のとおり行います。  
(甲種防火管理者講習)

- 講習会 平成14年11月26日(火)～27日(水)
- 場所 須玉町農村総合交流ターミナル『ふれあい館』北巨摩郡須玉町若神子521-7

- 申込み受付 平成14年11月5日(火)～11月8日(金)までの間、消防本部2階予防課で受付します。

なお、定員100名になり次第締切ります。  
※詳細については、最寄り消防署、分署、分遣所にお尋ね下さい。

●次のような建物においては、防火管理者を選任しなければなりません。

- 百貨店・旅館・病院など(特定用途)で収容人員が30人以上のもの
- 共同住宅・学校・工場・事務所など(非特定用途)で収容人員が50人以上のもの

◆現在防火管理者を選任している事業所等においては人事異動等を考慮し、この機会に受講して下さい。

## 高圧ガス保守活動促進週間

平成14年10月23日～29日まで

家庭のガス消費設備を再度チェックしガス事故を防ぎましょう。

●消費者のうっかりミス及び老朽設備による事故の主な原因

- ※ ガス栓の誤開放、開閉不十分
- ※ ゴム管のひび割れや接続不良
- ※ 配管接続部の腐食、損傷

●給排気、換気の不良、燃焼器具不良設備不良による事故の主な原因

- ※ 燃焼器具使用時の換気不良
- ※ 排気筒のはずれや鳥の巣などの異物による排気不良

# 正しい救急車の呼び方！

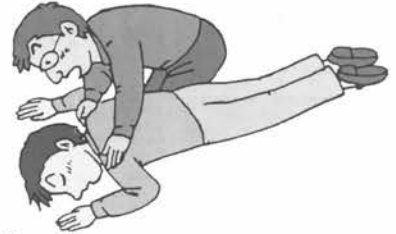
119番が通じたらあわてないで、次の事をはっきり伝える。

1. 今、どんな状態か、意識があるかないか。
2. どうしてけがをしたのか、どんな状態で発病したのか。
3. 傷病者が複数いる時は、その人数。
4. 持病があればその病名、かかりつけの病院。
5. サイレンが聞こえたらできるだけ、案内する人を出して誘導する。

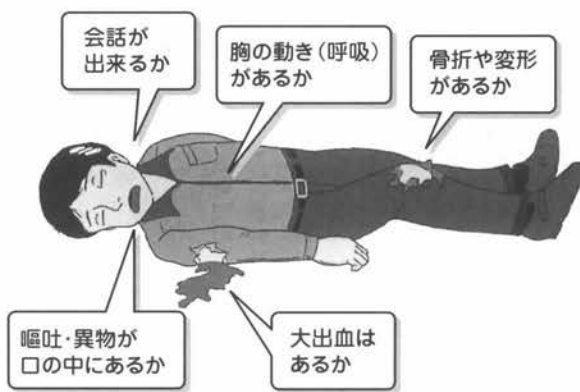
※チェックポイント 意識を調べる！

意識を調べるには、次の方法があります。

- ①声をかけてみる→会話ができる・目をあける
- ②肩などをたたいてみる→目を閉じているが手足を動かす・顔をしかめる



この様な事をしてても何も反応がない場合に意識がないと判断してください。



今の傷病者の状態をできるだけくわしく通報してください。

## 迅速な119番通報は、大切な命を救う

- ◎ その場に居合わせた人の応急手当
- ◎ 迅速な119番通報
- ◎ 救急隊員による応急処置
- ◎ 医療機関による専門治療

これらのどれ1つがかけても救命リレーは成功しません。

皆さんの適切な119番通報をお願いします。

韮崎市・北巨摩地域で119番をかけると、峡北消防本部（韮崎市本町4-9-48）通信指令室につながります。

また、県内国中地域から携帯電話で119番をかけると甲府消防本部に、又清里方面では電話会社によっては、長野県の上田消防本部通信指令室につながりますので「峡北消防本部へお願いします。」と告げて下さい。当消防本部通信指令室に転送されます。

なお、携帯電話で通報する場合、地域によっては途中で切れたり声が小さく聞き取れないことがありますので注意して下さい。

峡北消防本部一般加入電話は、(0551)22-3311です。

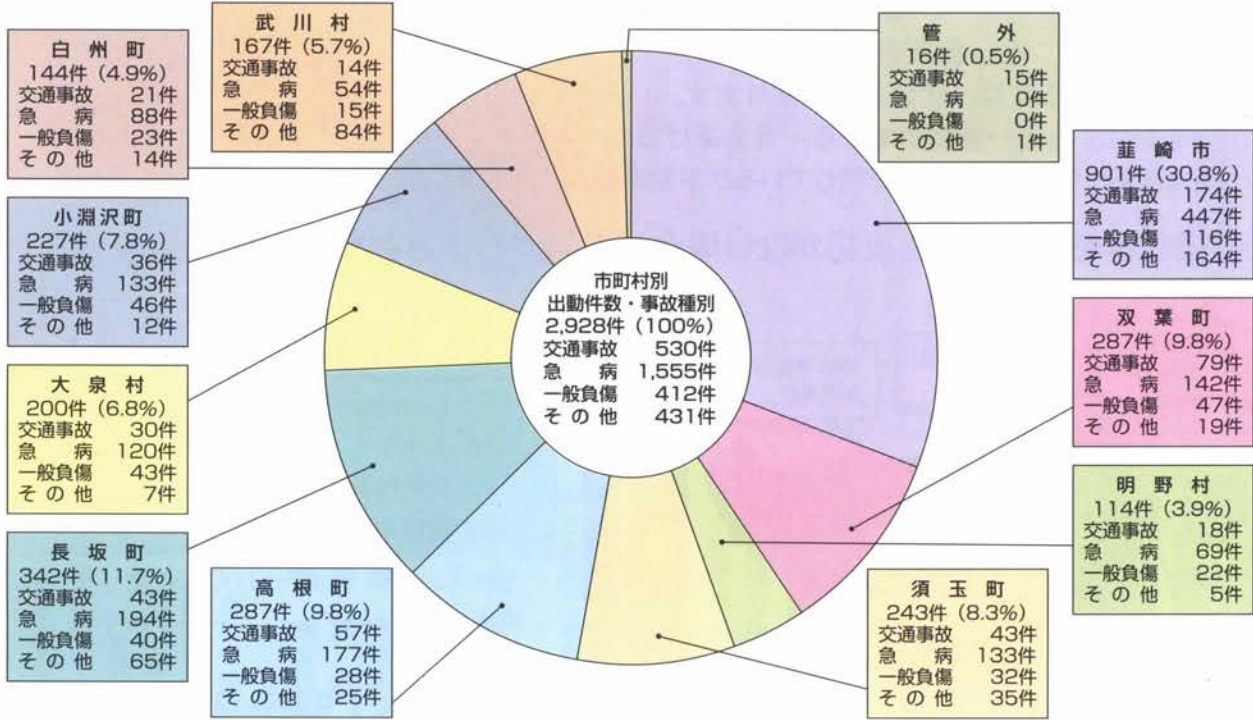
119番へ電話が通じたら、あわてずに次の要領ではっきりと通報します。

119番に通じたら	
峡北消防本部の問い掛け	通報者の通報要領
119番消防本部です。火事ですか！救急ですか！	救急です。
どうしましたか！	交通事故です。あるいは急病人です。 (簡潔に事故の状況・傷病者の状態を説明)
場所はどこですか！近くに目標はありますか！	〇〇町〇〇の〇〇小学校の前です。
今おかけの電話番号とお名前を教えてください。	(〇〇)〇〇〇〇の峡北太郎です。
はい、分かりました。	

# 平成13年中の救急活動状況

峡北地区の平成13年中の救急業務実施状況は救急出動件数が2,928件、搬送人員が2,895人で前年に比べ、出動件数において36件(1.2%)増加し、搬送人員においては21人(0.7%)減少しました。

## 市町村別出動件数及び事故種別件数状況



## あなたの応急手当てが命を救う！

この内救急隊現場到着時、心肺蘇生(人工呼吸+心臓マッサージ)を必要とした人は88名でそのほとんどが何の応急手当ても受けていませんでした。

もしも、その時「救命の輪(迅速な119番通報・住民による応急手当て・救急隊による応急措置・病院による専門処置)」により救命率は確実に向上することは言うまでもありません。

当消防本部では救命率の向上のため、救急要請受信時に救急現場又は付近にいる人に対し、電話等により応急手当ての協力を要請し、口頭で応急手当ての指導を実施しております。又、住民の皆様を対象に適切な応急手当てを習得して頂くよう普通救命講習を年間を通して実施しております。

なお、普通救命講習修了者には修了証を交付しております。

普通救命講習を受講、希望される方は、お近くの消防署、分署、分遣所にお問い合わせ下さい。



# 環境衛生センターからのお願い

ごみを

ごみの五箇条

- 一、出さない！
- 二、減らそう！
- 三、分けよう！
- 四、リサイクル！
- 五、むやみに燃やさない！

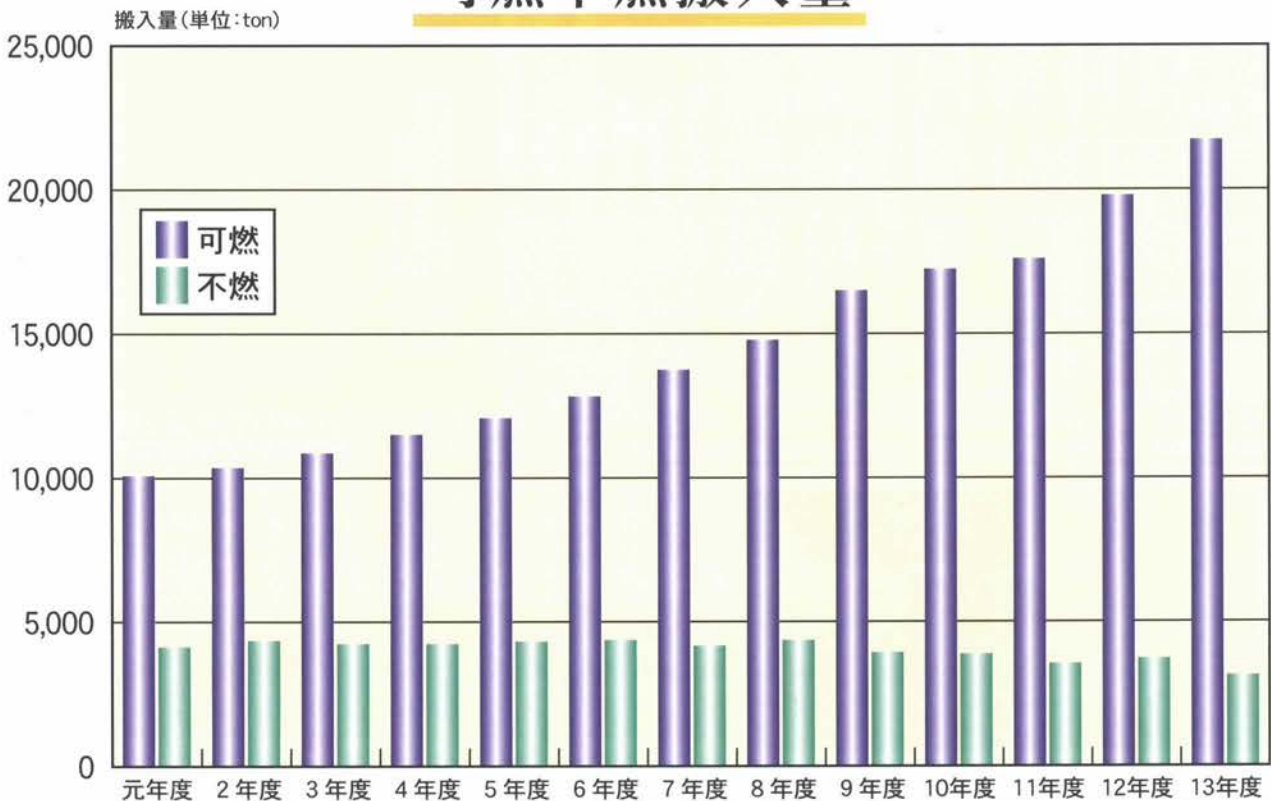


**ガスボンベ・スプレー缶には必ず穴をあけて！**

平成十四年六月四日に当センターへごみを搬入する車から煙が出るという事故が起こりました。幸い未然に消火しましたが、大事には至りませんでした。穴をあけていないカセットボンベが混じり、積み込んでいる際に発火したものと推測されます。搬入車輻の運転手さんが危険にさらされ大変危険です。カセットボンベやスプレー缶は必ず穴をあけ、別の袋で出されますようお願いいたします。

(写真は、その時燃えたごみの様子)

## 可燃不燃搬入量



数年間の搬入量の状況です。リサイクル活動等により不燃物の量が減少している一方、可燃物の量は増え続けています。ごみの減量化をお願いします。

# ふるさと振興課からのお知らせ

## 峡北総合情報誌発刊事業

峡北総合情報誌「ブリーズ」第三十二号（秋・冬号）が発刊になりました。峡北の新名所、峡北の味、峡北イベント情報等を情報量満載の内容になっています。

今後の発刊予定は来年二月になっていきます。なお、当組合（ふるさと振興課）のほか、峡北地域の市町村役場や、県内外の観光案内所等に配布しており、入手することができます。

また、峡北総合情報誌「ブリーズ」発刊事業は、平成三年度から実施しており、県内外の方々に山梨県の峡北地域をPRすることを目的に発刊し、地域振興を図っています。



## 第八回ブリーズ美術展



峡北地域で活躍する美術家たちの優れた作品を一堂に集めた「ブリーズ美術展」。今年で第八回を迎えます。

絵画・彫刻・陶芸・書道等ジャンルを越えた一流の作品を是非ご鑑賞下さい。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時 平成十四年十月五日(土)～

十月二十日(日)

〔月曜日は休館日〕

会場 葦崎市文化ホール美術展示室

入場 無料

主催 峡北広域行政事務組合

(主管 ふるさと振興課)

お問い合わせ先

峡北広域行政事務組合ふるさと振興課

TEL 〇五五二(二二)三三三(代)

〇五五二(二三)二〇二(直)

葦崎市文化ホール

TEL 〇五五二(二二)一一五五

## ふるさと振興観光 キャンペーン事業

ふるさと振興観光キャンペーン事業は、県内外で行われるイベントに参加して山梨県峡北地域をPRしています。

県内では、毎年十一月に小瀬スポーツ公園等で行われる県民の日記念行事六十四市町村ときめき広場に参加して、峡北地域のPRを行っています。

今年も、十一月十六日(土)～十七日(日)に行われる県民の日記念行事六十四市町村ときめき広場に参加(予定)し、峡北地域特産品などが当たる抽選会を行う予定です。ぜひ皆さんも遊びに来て下さい。なお、県外で行われるイベントにも参加して峡北地域をPRしています。





# 「介護認定審査会事務局より」

平成13年度要介護度別認定者数（H14年3月末）（単位：人）

自立		31
要支援	常時介護を必要とはしないが社会的支援を要する状態	533
要介護1	部分的介護を要する状態	1,260
要介護2	軽度の介護を要する状態	835
要介護3	中程度の介護を要する状態	623
要介護4	重度の介護を要する状態	469
要介護5	最重度の介護を要する状態	460
合計		4,211

## 介護保険で利用できるサービス

介護保険では、介護が必要になっても、できる限り住み慣れた自宅で自立した生活ができるよう、必要なサービスを総合的に提供します。

特に、在宅サービスについては、高齢者夫婦世帯のどちらか一人が寝たきりになっても、自宅で暮らし続けられるサービスの水準を目指しています。

### 要支援状態

日常生活に支援が必要な場合

（要支援状態の方は、在宅サービスを利用できます）



### 要介護状態

寝たきり、痴呆などで常に介護を必要とする状態

（要介護状態の方は、在宅・施設両方のサービスが利用できます）



### 在宅サービス

#### ●家庭を訪問するサービス

ホームヘルパーの訪問 [訪問介護]

看護婦などの訪問 [訪問看護]

リハビリの専門職の訪問 [訪問リハビリテーション]

入浴チームの訪問 [訪問入浴介護]

医師、歯科医師、薬剤師、栄養士、歯科衛生士等による指導 [居宅療養管理指導]

#### ●日帰りで通うサービス

日帰り介護施設（デイサービスセンター）などへの通所

[通所介護（機能訓練、食事、入浴など：デイサービス）]

老人保健施設などへの通所 [通所リハビリテーション（デイケア）]

#### ●施設への短期入所サービス

特別養護老人ホームや老人保健施設などへの短期入所

[短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）]

#### ●福祉用具の貸与・購入や住宅の改修

福祉用具（車いす、特殊寝台など）の貸与

福祉用具（腰かけ便座、入浴用いすなど）の購入費の支給

住宅改修費（手すりの取り付けや段差の解消など）の支給

#### ●その他

痴呆性老人のグループホーム [痴呆対応型共同生活介護]

有料老人ホームなどでの介護 [特定施設入所者生活介護]

#### ●ケアプランの作成

### 施設サービス

#### ●特別養護老人ホーム [介護老人福祉施設]

#### ●老人保健施設 [介護老人保健施設]

#### ●介護職員が手厚く配置された病院など [介護療養型医療施設]

(仮称) 峡北広域環境衛生センターの愛称  
**「エコパークたつおか」**  
 に決定!

現在峡北地域(葦崎市龍岡町)に建設中の新しいごみ焼却施設の愛称が決まりました。

これは、ごみ焼却施設の環境的イメージアップを図り、地域の活性化を推進するため広く県内に愛称募集をいたしました。応募点数三十四点の作品の中から厳正なる審査の結果、次の方が入賞されました。おめでとうございます。

なお、愛称については、入賞者の作品を組み合わせで決定しました。

優秀賞

葦崎市龍岡町若尾新田 浅川 正次様  
 葦崎市龍岡町下条南割 宮川 政勝様  
 たくさんのご応募ありがとうございました。



建設中のごみ焼却施設



全国ふるさと市町村圏  
 研修セミナー  
 二〇〇二 in 峡北

全国ふるさと市町村圏研修セミナー二〇〇二 in 峡北がホテル舟山において、七月二十五日(木)〜二十六日(金)の両日に亘り開催されました。全国各地よりふるさと市町村圏等職員の参加を得、加入圏域で抱える課題の追求、または、振興、発展のための手法、その事例の紹介等学習の場を提供し、基調講演として「視点が変われば地域が変わる」地域づくりにおける地域資源の発掘と活用、また、葦崎市円野町の「平成かかしカーニバルによる地域づくり」と題して事例発表があり、今後も加入圏域の地域振興が図られます。



**+** 救急救命士紹介

平成十三年度・救急救命士の国家試験に一人が合格しました。

当本部で、合計十人が救急救命士として活躍しています。



長坂消防署 藤巻明親

私は、昨年十月より六ヶ月間、福岡県北九州市にある救急救命九州研修所において、救急救命士養成研修に行っていました。その結果、三月に行われた国家試験に無事合格し、現在、長坂消防署の新米救急救命士として、日々努力しています。

さて、救急救命士制度が発足されてから十年が経過し、現在、その見直しが行われています。この先、救急救命士の行える処置が拡大する方向に進んでいます。私も周りの進化に遅れることなく、日々の訓練を重ね、迅速かつ的確に現場対応できるように最善を尽くし、任務を遂行していきたいと思えます。

表紙の写真は、今年六月四日に長坂消防署で開催された、第二十九回山梨県消防職員救助技術大会で、力強く選手宣誓をして、健闘している当消防本部の職員です。

なお、結果は九種目中五種目制覇し、千葉県で開催された、関東大会に出場しました。